

第3学年 年間指導計画

月	目標	目標達成へのポイント	日 曜	主な学校行事	日 曜	進路行事	模試()は校外実施	学習の流れ
4	最上級生ということを実感する。 進路実現に向けて好スタートを切る。	・後輩のお手本になるような部活動・行事活動・学習活動をする。 ・これまで以上にやるべき事が多くなるが、粘り強く学習する。 ・入試スケジュールの流れをしっかり把握し、先の見通しを持って取り組む。 ・理・社を国・数・英と並行してまとめていく。	8 金 11 月 12 火	始業式・入学式 課題確認テスト 学年集会	11 月 16 土 23 土 29 土 12 火	進路希望調査① 土曜講習Ⅰ 進路シラバス説明 学年通信	任意:春休みまでの成果の確認・3年夏休みまでの苦手分野の確認の材料 進研総合学力記述 学研全国総合模試	進研マーク(6/11) までに、 絶対的基礎力を 身につける。ただし、 安易にマーク形式の問題に飛びつかない! 進研記述(7/15,16) までに、 既習分野の記述力 を養成していく。特に、 苦手科目・分野の克服は4~6月まで! この時期にある程度の見通しをつくる!
5	部活動をやり切る。学習への取り組みは途切らせない。	・高校最後の大会に向けて悔いのない活動をする。ただし、学習時間はゼロにしない。限られた時間(ｽｷﾞ)を有効に使う。 ・6月から定期考査、進研マーク、記述模試と続く。全てにおいて合格のパスポート(定期考査:80点以上・模試:目標大学合格ラインのSS付近)を手に入れる。	31 火	運動会	13 金 16 月	小論文模試① 学研小論文講習会①	任意:(難関向け)記述力の確認 第1回全統マーク模試 任意:受験レベルを体感する	
6	部活動引退後受験生としてのスイッチの切り替えをする。中旬下旬は最後の学校祭に向けて仕事をやり切る。学習への取り組みは途切らせない。	・部活動引退後一気に切り替え、平日5時間を前提とした受験体制に。ロケットスタートを切れるかが勝負の分かれ目。中旬以降は学祭の作業で学習時間5時間の確保が難しいかもしれないが、限られた時間を有効に使う。 ・弱点分野の克服に向けてひたすら学習一筋になろう。 ・夏休みまでの講習模試計画を立て、目標を明確にしよう。	3 金 7 火 31 火	学年PTA懇談会 定期考査(～10) 運動会	10 金 17 日 18 日 20 日	学年集会(考査後) 期間講習Ⅰ	進研マーク模試 指定:センター対策本格スタート	登校日の学習時間は最低でも 4～5時間 【予習復習を中心に基礎固めをする時期】 苦手科目や弱点分野を克服し、入試の土台となる基礎を固める時期・理社も少しずつでもまとめていく
7	西高祭準備期間も切り替えと集中力で計画的に学習に取り組む。	・限られた時間の中で前進するために、予習授業復習を中心とした学習リズムを崩さない。 ・西高祭後直ちに、平日5時間、休日10時間の受験体制に切り替える。ロケットスタートを切れるかが勝負の分かれ目。 ・志望校研究を行い、モチベーション向上に努める。	8 金 21 木	西高祭(～10) 夏季休業(～15)	17 日 19 火 20 水	赤本購入幹旋 夏期講習Ⅰ・Ⅱ・Ⅲ～7/31 小論文模試② 学年集会(終業日) 保護者面談①	任意:受験に必要な 理想:国数英は勝負できる状態	【実戦力を養うための問題演習を始める時期】 志望校対策をスタートさせる時期。夏休みを最大限に活用して、問題演習などの本格的な受験勉強に取り組む。 夏休みの学習量は毎日10時間が最低ライン!!
8	夏は受験の天王山。センター試験や志望校の過去問に取り組む。8月9月の全統・進研模試で良い結果を出すことを目標に自分なりの学習スタイルを貫く	・始業日からは、 再度授業を大切に 学習する。 ・赤本でまず1年分の問題を解き傾向を把握。 ・分からない問題や面倒な問題こそが、ステップアップへ繋がる。諦めず取り組もう。 ・計画倒れにならないように、都度修正しながら実行していこう。	7 日 8 月 16 火	北大オープンキャンパス 始業日	23 火 26 土 27 土 29 土	進路希望調査② 期間講習Ⅱ	任意だが可能な限り受験: 任意だが可能な限り受験:	
9	これまで受けてきた模試を再度解き直す。模試の解答解説は最高の参考書。	・手当たり次第問題に取り組まない。 模試の解き直しが効果的な受験勉強である ことを認識しよう。 ・手当たり次第問題に取り組まない。 模試の解き直しが効果的な受験勉強である ことを認識しよう。	6 火 15 木 23 金 30 金	定期考査(～9) 体育大会(～16) 学年PTA懇談会【指定校推薦会議】 前期終業日	9 金 13 火 13 火 17 土 24 土 1 土 20 火	学年集会(考査後) LHRセンター願書書き方指導 小論文模試③ 土曜講習 LHRセンター願書下書き・確認	進研マーク模試 任意だが可能な限り受験:センターまで4ヶ月目標点を意識しながら受験	10月第3回全統マーク模試までにセンターレベルを一度完成させる。※センター本番の実力を100%とすれば、この時点で80%程度に持って行く。

第3学年 年間指導計画

月	目標	目標達成へのポイント	日 曜	主な学校行事	日 曜	進路行事	模試()は校外実施	学習の流れ
10	全統マーク模試を仮想入試と位置付けてセンターレベルを1度完成させるように計画を立案しよう。	<ul style="list-style-type: none"> ここまでで一通り完成させることで、目標点に達していない分野を明確にし、残りの期間で立て直しを行おう。 西高生は、ここから伸びる。判定に一喜一憂しないで、学習を着実に実行する。 	3	後期始業日 【センター願書出願】 【面接指導オンラインセッション】 【北大AO出願】	3	センター願書提出 4 火 LHR 面接指導説明 11 火 LHR 二次願書説明 11 火 小論文模試④	校内実力テスト 進路記述模試 任意だが可能な限り受験 : 理科社会の2次力の完成を意識する 第3回全統記述模試 指定: 最後の指定記述模試 第3回全統マーク模試 指定: センターを一度完成させる	指定: 先輩の実績から 【入試実践力養成期】 センター試験、2次試験の目標点を意識しながら問題演習や模試に取り組む時期
11	大学別模試を受験し、2次力を育成する。	<ul style="list-style-type: none"> センターレベルの完成が順調であれば、大学別模試3つのうち2つ受験しよう。 そうでない場合は1つに止めて、センタープレ受験などで、センター対策に重点を置こう。 	21	【道教育・北見工・室工大推薦出願】 【推薦入試面接指導】 【旭医AO出願】 【札幌推薦出願】 定期考査(～25)	1	火 LHR 受験校調査 3 木 北大オープン 4 5 6 7 期間講習3	任意: 北大受験者は必須 (北大プレ、実戦) (東大京大OP, 実戦) (東大プレ) 任意(難問向け) 3つのうち2つ受験 全統センタープレ	大学別模試や定期考査を活用しながら2次力を徹底的に育成する。現時点では力不足を痛感すると思うが、復習・復習・復習で2次で求められる学力にできるだけ近づける。
12	センター試験に対応した学力を仕上げよう。	<ul style="list-style-type: none"> センター演習は、計時しながら過去問や予想問題を数多く解き、実践力を身に付ける。 不正解の設問は、徹底的に見直して、今までにやったことは、確実に解けるように演習する。 	23	【私大出願】 冬季休業(～14)	6	火 LHR 調査書発行について 9 10 12 期間講習4 22 木 学年集会 保護者面談② 24 土 冬期講習前期(～28)	任意: センター受験者は必須 (駿台センタープレ)	計時しながら過去問や予想問題を数多く解き、実践力を身に付ける。練習も本番のように集中して取り組むことが大切。練習は本番のように。本番は練習のように。
1	本番で自分の力を出し切ろう。	<ul style="list-style-type: none"> 焦りや不安をバネにして、センター試験に向け、前日まで追い込みですべてを注ぐ。 受験の心得等十分に把握するとともに、センター試験当日の時間割にコンディションを合わせた演習を心掛ける。 	14	土 【センター試験】 15 日 始業日 16 月 【センター自己採点】 【樽商大推薦出願】 【私大入試開始】 【国公立大出願】 27 金 3年登校日	17	火 二次対策講習開始 個人面談 小論文・面接指導開始 【出願校検討会】 23 月 学研小論文講習会② 出願校調査	任意: 本番と同じ時間割で予行演習 直前演習	大学入試セク・試験 センター後、学習する科目数が減ることにより、学習時間も減少しがち。教材を工夫する(基礎と実践)などして、センター直前の勢いを持続させる。西高生はここから勝負できる。
2	現役生の2次力はこの時期で決まる。一心不乱に勉強するのみ。	<ul style="list-style-type: none"> 2次講習を活用し、過去問演習を重ね、記述解答力を高める。 生活リズムを守って、学習時間を十分に確保する。受験科目数は減るが、センター直前と同様の学習時間が求められる。 	25	土 【国公立大前期試験】 28 火 3年登校日	～	28 火 受験番号報告 28 火 二次対策講習終了 進路指導に関するアンケート		2次試験(前期)
3	後期日程の欠席率は5割以上。最後の最後まで諦めずに粘って受験しよう。	<ul style="list-style-type: none"> 後期試験までが受験であることを認識することが大切。前期で燃え尽きる人が多く、実は後期にも可能性は十分にある。 面接や小論文は、対策の丁寧さが結果を大きく左右する。添削等納得のいくまで取り組もう。 	1	水 卒業式 【国公立大前期発表】 【国公立大中・後期試験】 【国公立大中・後期発表】 【追加合格発表】				2次試験(後期) 後期試験までが受験勉強。前期試験直後から後期の対策に入る。最後までやり切ることが将来必ず活きる。